

財 政 援 助 団 体 等 監 査 結 果 報 告

〔財 団 法 人 神 戸 在 宅 ケ ア 研 究 所〕

神戸市監査委員	櫻 井 誠 一
同	守 屋 隆 司
同	川 内 清 尚

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき実施した平成 24 年度財政援助団体等監査について、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監 査 の 対 象

財団法人神戸在宅ケア研究所（以下「研究所」という。）における出納その他の事務（神戸市（以下「本市」という。）からの公の施設の指定管理に係る出納その他の事務を含む。）で、主として平成 23 年度執行の事務

2 監 査 の 期 間

平成 24 年 8 月 20 日～平成 24 年 12 月 21 日

3 監 査 の 方 法

監査は、出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

4 団 体 の 概 要

(1) 設立の趣旨

研究所は、在宅高齢者等に対する福祉・医療サービスについての研究及び実践を行い、もって、高齢者等の福祉の向上に寄与することを目的として、昭和 62 年 7 月に設立された。

（平成 25 年 4 月に一般財団法人へ移行予定）

(2) 本市との関係

① 出捐

研究所の基本財産は、1 億円であり、本市は 3,500 万円（出捐率 35%）を出捐している。

② 公の施設の指定管理

平成 23 年度は、老人健康センターの指定管理者に指定し、利用料金制を採用した上で、指定管理料を 7,400 万円支出している。

③ 職員数

平成 23 年度末の職員数は 409 人であり、うち本市派遣職員は 3 人である。

(3) 事業の概要

研究所及び主な事業所の所在地は、第 1 表のとおりである。

第 1 表 研究所等の所在地

事業所	所在地
研究所（事務所）	北区山田町下谷上字中一里山14番地の1 （しあわせの村 神戸リハビリテーション病院内）
神戸リハビリテーション病院	北区山田町下谷上字中一里山14番地の1 （しあわせの村内）
老人健康センター 介護老人保健施設こうべ 地域リハビリテーションセンター	中央区日暮通5丁目5番8号 （神戸高齢者総合ケアセンター内）
介護老人保健施設 リハ・神戸	北区山田町下谷上字中一里山14番地の1 （しあわせの村内）
しあわせ訪問看護ステーション	中央区日暮通5丁目5番8号
東灘センター 東灘しあわせ訪問看護ステーションくるる 魚崎南部あんしんすこやかセンター 東灘ケアプランセンターほくら・くるる	東灘区魚崎中町4丁目3番18号 （魚崎中町デイサービスセンター内）
兵庫センター 兵庫しあわせ訪問看護ステーション 新開地あんしんすこやかセンター 兵庫しあわせケアプランセンター	兵庫区大開通1丁目1番1号 （神鉄ビル内）
しあわせの村センター しあわせの村あんしんすこやかセンター しあわせの村在宅支援センター	北区山田町下谷上字中一里山14番地の1 （しあわせの村 介護老人保健施設リハ・神戸内）
西部センター 西部しあわせ訪問看護ステーション	垂水区星陵台4丁目4番37号 （垂水区医師会館内）

研究所の事業の概要は以下のとおりであり、主な業務量の推移は、第2表のとおりである。

① 調査研究事業

医療、保健衛生等の分野における各種の在宅ケアについて、在宅介護実態調査等の調査研究を行っている。

② 住宅改修助成事業

高齢者及び障害者のための住宅改修について、専門チームによる訪問相談及び改修費用の助成・貸付に関する業務を本市から受託し、実施している。

③ 福祉機器展示場の運営

しあわせの村「たんぼぼの家」内の「福祉機器総合ホール」において、本市からの受託事業として、福祉機器の展示等を行い、モデル住宅を運営するとともに、福祉機器、介護及び住宅改修等に関する相談・研修事業を実施している。(24年度からは、財団法人こうべ市民福祉振興協会へ移行)

④ 地域医療・介護向上支援事業

高度医療機器による地域での診療の支援や地域における医療・介護の向上のための人材育成のほか、3箇所の地域包括支援センター（あんしんすこやかセンター）の運営を本市から受託し、在宅ケアに関する助言、相談等の支援を行い、地域医療・介護の向上を目指した支援を行っている。

⑤ 神戸リハビリテーション病院の管理運営

脳血管障害者等の家庭・社会復帰を目的とし、リハビリテーションを主として医療・看護・介護サービスを提供する神戸リハビリテーション病院を運営している。

・病床数 180床

・診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科、歯科

・施設承認 回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅱ

(23年度までは、回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ) など

⑥ 老人健康センターの管理運営

老化や障害のために心身両面で生活機能が低下し、自立生活が困難になった高齢者に対して、各種の訓練やケアを提供することにより、生活意欲を引き出し、在宅生活を支援する老人健康センターの運営を本市から指定管理者の指定を受けて行っている。老人健康センター内には、介護老人保健施設「こうべ」（入所）と地域リハビリテーションセンター（通所）がある。

○介護老人保健施設「こうべ」（神戸高齢者総合ケアセンター2階）

・入所定員 54人

○地域リハビリテーションセンター（神戸高齢者総合ケアセンター1階）

・通所訓練利用定員 午前20人、午後20人（水曜日は午前のみ）

⑦ 介護老人保健施設の管理運営

病状が安定期にあり、特に治療を必要としない方を対象に、看護・介護・リハビリテーションを中心に医療・日常生活上の世話をを行い、家庭復帰と在宅生活の支援を目指す施設として、介護老人保健施設を運営している。

老人健康センター内の「こうべ」（再掲）と神戸リハビリテーション病院に隣接する「リハ・神戸」の管理運営を行っている。

○介護老人保健施設「リハ・神戸」

・定員 入所 90 人，通所 30 人

⑧ 訪問看護事業

住み慣れた地域社会での療養の推進と介護者の負担軽減を図るため、4 箇所の訪問看護ステーションを運営し、訪問看護及び訪問リハビリテーションを実施している。

⑨ 在宅介護支援事業

介護保険制度における要介護認定の申請代行やサービス利用計画の作成相談窓口として、居宅介護支援事業を実施している。5 箇所の居宅介護支援事業所（えがおの窓口）で、ケアプラン管理及び介護予防プラン作成業務に対応している。

第 2 表 業 務 量 の 比 較

項 目		平成23年度	平成22年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
調 査 研 究 事 業	調 査 実 績	4件	4件	0件	0.0
住 宅 改 修 助 成 事 業	申 込 件 数	530件	574件	△44件	△ 7.7
	訪 問 調 査 件 数	506件	546件	△40件	△ 7.3
	完 了 件 数	495件	456件	39件	8.6
介護保険住宅改修工事実地調査	調 査 件 数	40件	44件	△4件	△ 9.1
福祉機器展示場の運営					
福祉機器総合ホール	入 場 者 数	15,714人	18,316人	△2,602人	△ 14.2
	相 談 件 数	898件	870件	28件	3.2
地域医療・介護向上支援事業					
高度医療機器による地域での診療支援					
紹介MRI検査の実施	実 施 人 数	634人	—	634人	皆増
医療・介護人材育成					
後期研修医師の育成	人 数	3人	—	3人	皆増
実習生等の受け入れ	延 人 数	2,245人	—	2,245人	皆増
地域包括支援センターの運営	相 談 実 人 数	13,519人	10,225人	3,294人	32.2
	相 談 延 件 数	25,003件	18,288件	6,715件	36.7
	介護予防ケアプラン管理数	7,628件	5,645件	1,983件	35.1
神戸リハビリテーション病院の管理運営					
入 院 患 者 数	延 患 者 数	56,970人	56,448人	522人	0.9
	1 日 あ た り 患 者 数	155.7人	154.7人	1.0人	0.6
外 来 患 者 数	延 患 者 数	2,429人	2,437人	△8人	△ 0.3
	一 日 あ た り 患 者 数	10.0人	10.0人	0.0人	0.0
老人健康センターの管理運営					
介護老人保健施設「こうべ」					
入 所 者	延 利 用 者 数	18,161人	18,640人	△479人	△ 2.6
	1 日 平 均 利 用 者 数	49.6人	51.1人	△1.5人	△ 2.9
地域リハビリテーションセンター					
通 所 者	延 利 用 者 数	5,500人	6,387人	△887人	△ 13.9
	1 回 平 均 利 用 者 数	12.7人	14.7人	△2.0人	△ 13.6
介護老人保健施設の管理運営					
介護老人保健施設リハ・神戸					
入 所 者	延 利 用 者 数	31,730人	30,599人	1,131人	3.7
	1 日 平 均 利 用 者 数	86.7人	83.8人	2.9人	3.5
通 所 者	延 利 用 者 数	5,738人	5,822人	△84人	△ 1.4
	1 回 平 均 利 用 者 数	23.5人	24.0人	△0.5人	△ 2.1
訪 問 看 護 事 業					
訪 問 看 護	利 用 者 数 (月 平 均)	833人	827人	6人	0.7
	訪 問 回 数	62,929回	58,858回	4,071回	6.9
訪問リハビリテーション(訪問訓練)	延 訪 問 回 数	4,395回	3,871回	524回	13.5
在宅介護支援事業	ケアプラン管理延数	9,132件	8,512件	620件	7.3
	更新認定調査件数	1,889件	1,611件	278件	17.3
	他都市認定調査件数	32件	25件	7件	28.0

(4) 経営状況及び財政状態

研究所の会計は、一般会計（①，②，③），病院事業特別会計（④の一部，⑤），老人保健施設事業特別会計（④の一部，⑥，⑦），訪問看護事業特別会計（④の一部，⑧），在宅介護支援事業特別会計（④の一部，⑨）に分かれている。（（）の数字は，各会計で実施している事業を前述の事業の概要と合わせて表示している。）なお，会計処理は，公益法人会計基準を適用しており，消費税処理は税込処理である。

経営状況は，第3表のとおりである。

第 3 表 比 較 正 味 財 産 増 減 計 算 書（総括表）

（単位 金額：千円）

科 目	平成23年度		平成22年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
I 一般正味財産増減の部						
【経常増減の部】						
(1) 経常収益(a)	3,988,284	100.0	3,651,256	100.0	337,028	9.2
① 基本財産運用益	1,370	0.0	1,370	0.0	0	0.0
② 事業収益	3,836,366	96.2	3,493,121	95.7	343,245	9.8
③ 受取補助金等	15,912	0.4	15,686	0.4	226	1.4
④ 受取寄付金	603	0.0	185	0.0	418	225.9
⑤ 雑収益	14,609	0.4	27,593	0.8	△ 12,984	△ 47.1
⑥ 引当金取崩額	119,425	3.0	113,301	3.1	6,124	5.4
(2) 経常費用(b)	3,836,882	100.0	3,584,880	100.0	252,002	7.0
① 事業費	3,810,748	99.3	3,562,535	99.4	248,213	7.0
② 管理費	4,565	0.1	3,282	0.1	1,283	39.1
③ 引当金繰入額	21,569	0.6	19,062	0.5	2,507	13.2
当期経常増減額(A=a-b)	151,402	—	66,376	—	85,026	128.1
【経常外増減の部】						
(1) 経常外収益(c)	—	—	92	—	△ 92	皆減
① 固定資産売却益	—	—	92	—	△ 92	皆減
(2) 経常外費用(d)	602	—	2,936	—	△ 2,334	△ 79.5
① 除却損失	602	—	2,936	—	△ 2,334	△ 79.5
当期経常外増減額(B=c-d)	△ 602	—	△ 2,845	—	2,243	—
当期一般正味財産増減額(C=A+B)	150,801	—	63,531	—	87,270	137.4
一般正味財産期首残高(D)	1,671,386	—	1,607,855	—	63,531	4.0
一般正味財産期末残高(E=C+D)	1,822,186	—	1,671,386	—	150,800	9.0
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額(F)	△ 4,880	—	△ 2,898	—	△ 1,982	△ 68.4
指定正味財産期首残高(G)	171,927	—	174,825	—	△ 2,898	△ 1.7
指定正味財産期末残高(H=F+G)	167,048	—	171,927	—	△ 4,879	△ 2.8
III 正味財産期末残高(I=E+H)	1,989,234	—	1,843,313	—	145,921	7.9

財政状態は、第4表のとおりである。

第 4 表 比 較 貸 借 対 照 表（総括表）

（単位 金額：千円）

科 目	平成 23 年 度 末		平成 22 年 度 末		対 前 年 度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
資 産	3,135,524	100.0	2,904,305	100.0	231,219	8.0
I 流 動 資 産	1,926,319	61.4	1,695,888	58.4	230,431	13.6
(1) 現 金 預 金	1,159,187	37.0	1,038,935	35.8	120,252	11.6
(2) 未 収 金	578,724	18.5	546,214	18.8	32,510	6.0
(3) 有 価 証 券	180,000	5.7	100,112	3.4	79,888	79.8
(4) 貯 蔵 品	10,713	0.3	12,658	0.4	△ 1,945	△ 15.4
(5) 前 払 金	1,158	0.0	1,167	0.0	△ 9	△ 0.8
(6) 仮 払 金	55	0.0	—	—	55	皆増
(7) 貸 倒 引 当 金	△ 3,518	△ 0.1	△ 3,198	△ 0.1	△ 320	△ 10.0
II 固 定 資 産	1,209,205	38.6	1,208,417	41.6	788	0.1
(1) 基 本 財 産	100,000	3.2	100,000	3.4	0	0.0
① 公 債	99,980	3.2	99,980	3.4	0	0.0
② 普 通 預 金	20	0.0	20	0.0	0	0.0
(2) 特 定 資 産	497,560	15.9	533,156	18.4	△ 35,596	△ 6.7
① 建 物	374,114	11.9	386,483	13.3	△ 12,369	△ 3.2
② 建 物 付 帯 設 備	116,078	3.7	141,811	4.9	△ 25,733	△ 18.1
③ 車 両 運 搬 具	3,566	0.1	3,171	0.1	395	12.5
④ 什 器 備 品	1,743	0.1	—	—	1,743	皆増
⑤ 退 職 給 付 引 当 資 産	2,059	0.1	1,690	0.1	369	21.8
(3) そ の 他 固 定 資 産	611,645	19.5	575,262	19.8	36,383	6.3
① 土 地	26,330	0.8	26,330	0.9	0	0.0
② 建 物	78,011	2.5	80,975	2.8	△ 2,964	△ 3.7
③ 建 物 付 帯 設 備	46,584	1.5	49,851	1.7	△ 3,267	△ 6.6
④ 構 築 物	10,688	0.3	11,171	0.4	△ 483	△ 4.3
⑤ 車 両 運 搬 具	15	0.0	137	0.0	△ 122	△ 89.1
⑥ 什 器 備 品	219,086	7.0	202,765	7.0	16,321	8.0
⑦ 一 括 償 却 資 産	1,069	0.0	1,915	0.1	△ 846	△ 44.2
⑧ リ ー ス 資 産	22,269	0.7	32,272	1.1	△ 10,003	△ 31.0
⑨ 建 設 仮 勘 定	599	0.0	599	0.0	0	0.0
⑩ 電 話 加 入 権	6,084	0.2	6,084	0.2	0	0.0
⑪ 保 証 金	5,717	0.2	5,364	0.2	353	6.6
⑫ ソ フ ト ウ ェ ア	10,882	0.3	5,480	0.2	5,402	98.6
⑬ 繰 延 資 産 勘 定	184,314	5.9	152,318	5.2	31,996	21.0
負 債 及 び 正 味 財 産	3,135,524	100.0	2,904,305	100.0	231,219	8.0
負 債	1,146,290	36.6	1,060,992	36.5	85,298	8.0
I 流 動 負 債	432,100	13.8	348,888	12.0	83,212	23.9
(1) 未 払 金	299,958	9.6	223,343	7.7	76,615	34.3
(2) 預 り 金	27,803	0.9	27,367	0.9	436	1.6
(3) 仮 受 金	19	0.0	2	0.0	17	850.0
(4) 賞 与 引 当 金	104,320	3.3	98,176	3.4	6,144	6.3
II 固 定 負 債	714,190	22.8	712,104	24.5	2,086	0.3
(1) 長 期 借 入 金	427,890	13.6	461,450	15.9	△ 33,560	△ 7.3
(2) リ ー ス 債 務	22,269	0.7	32,272	1.1	△ 10,003	△ 31.0
(3) 退 職 給 付 引 当 金	264,032	8.4	218,382	7.5	45,650	20.9
正 味 財 産	1,989,234	63.4	1,843,313	63.5	145,921	7.9
I 指 定 正 味 財 産	167,048	5.3	171,927	5.9	△ 4,879	△ 2.8
（うち基本財産への充当額）	(100,000)	—	(100,000)	—	(0)	—
（うち特定資産への充当額）	(67,032)	—	(71,927)	—	(△4,895)	—
II 一 般 正 味 財 産	1,822,186	58.1	1,671,386	57.5	150,800	9.0
（うち基本財産への充当額）	(—)	—	(—)	—	(—)	—
（うち特定資産への充当額）	(428,470)	—	(459,538)	—	(△31,068)	—

（注）一般会計及び各特別会計間の内部取引高（未収金及び未払金各191,087千円）は相殺消去している。

① 一般会計

(ア) 経営状況

経営状況は、第5表のとおりである。

第5表 比較正味財産増減計算書（一般会計）

(単位 金額：千円)

科 目	平成23年度		平成22年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
I 一般正味財産増減の部						
【 経 常 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 収 益 (a)	45,722	100.0	46,002	100.0	△ 280	△ 0.6
① 基 本 財 産 運 用 益	1,370	3.0	1,370	3.0	0	0.0
② 事 業 収 益	42,293	92.5	42,647	92.7	△ 354	△ 0.8
事業受託収益	41,318	90.4	41,589	90.4	△ 271	△ 0.7
事業収益	975	2.1	1,058	2.3	△ 83	△ 7.8
③ 受 取 補 助 金 等	500	1.1	500	1.1	0	0.0
④ 雑 収 益	197	0.4	333	0.7	△ 136	△ 40.8
受 取 利 息	179	0.4	333	0.7	△ 154	△ 46.2
雑 収 益	18	0.0	—	—	18	皆増
⑤ 引 当 金 取 崩 額	1,362	3.0	1,152	2.5	210	18.2
賞与引当金戻入額	1,362	3.0	1,152	2.5	210	18.2
(2) 経 常 費 用 (b)	49,236	100.0	47,749	100.0	1,487	3.1
① 事 業 費	44,671	90.7	44,467	93.1	204	0.5
調査研究事業費	1,251	2.5	1,251	2.6	0	0.0
福祉機器展示・住宅改修事業費	43,215	87.8	42,971	90.0	244	0.6
減 価 償 却 費	205	0.4	245	0.5	△ 40	△ 16.3
② 管 理 費	4,565	9.3	3,282	6.9	1,283	39.1
管 理 費	4,359	8.9	3,282	6.9	1,077	32.8
減 価 償 却 費	206	0.4	—	—	206	皆増
当期経常増減額 (A = a - b)	△ 3,514	—	△ 1,747	—	△ 1,767	△ 101.1
【 経 常 外 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 外 収 益 (c)	—	—	—	—	—	—
(2) 経 常 外 費 用 (d)	553	—	—	—	553	皆増
① 除 却 損 失	553	—	—	—	553	皆増
建物付帯設備除却損	553	—	—	—	553	皆増
当期経常外増減額 (B = c - d)	△ 553	—	0	—	△ 553	—
当期一般正味財産増減額 (C = A + B)	△ 4,067	—	△ 1,747	—	△ 2,320	△ 132.8
一般正味財産期首残高 (D)	381,125	—	382,872	—	△ 1,747	△ 0.5
一般正味財産期末残高 (E = C + D)	377,058	—	381,125	—	△ 4,067	△ 1.1
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額 (F)	0	—	0	—	0	—
指定正味財産期首残高 (G)	100,000	—	100,000	—	0	0.0
指定正味財産期末残高 (H = F + G)	100,000	—	100,000	—	0	0.0
III 正味財産期末残高 (I = E + H)	477,058	—	481,125	—	△ 4,067	△ 0.8

(イ) 財政状態

財政状態は、第6表のとおりである。

第 6 表 比 較 貸 借 対 照 表 (一 般 会 計)

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年 度 末		平成 22 年 度 末		対 前 年 度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
資 産	493,718	100.0	498,031	100.0	△ 4,313	△ 0.9
I 流 動 資 産	226,927	46.0	221,560	44.5	5,367	2.4
(1) 現 金 預 金	134,878	27.3	109,688	22.0	25,190	23.0
(2) 未 収 金	11,984	2.4	11,682	2.3	302	2.6
(3) 有 価 証 券	80,000	16.2	100,112	20.1	△ 20,112	△ 20.1
(4) 貯 蔵 品	65	0.0	79	0.0	△ 14	△ 17.7
II 固 定 資 産	196,791	39.9	206,470	41.5	△ 9,679	△ 4.7
(1) 基 本 財 産	100,000	20.3	100,000	20.1	0	0.0
① 公 債 等	99,980	20.3	99,980	20.1	0	0.0
② 普 通 預 金	20	0.0	20	0.0	0	0.0
(2) 特 定 資 産	2,059	0.4	1,690	0.3	369	21.8
① 退 職 給 付 引 当 資 産	2,059	0.4	1,690	0.3	369	21.8
(3) そ の 他 固 定 資 産	94,732	19.2	104,780	21.0	△ 10,048	△ 9.6
① 建 物 付 帯 設 備	—	—	553	0.1	△ 553	皆減
② 什 器 備 品	313	0.1	413	0.1	△ 100	△ 24.2
③ 電 話 加 入 権	3,822	0.8	3,822	0.8	0	0.0
④ ソ フ ト ウ ェ ア	1,717	0.3	—	—	1,717	皆増
⑤ 貸付金 (老人保健施設事業特別会計)	88,880	18.0	99,992	20.1	△ 11,112	△ 11.1
III 内 部 出 資 金 勘 定	70,000	14.2	70,000	14.1	0	0.0
(1) 内 部 出 資 金 勘 定	70,000	14.2	70,000	14.1	0	0.0
負 債 及 び 正 味 財 産	493,718	100.0	498,031	100.0	△ 4,313	△ 0.9
負 債	16,660	3.4	16,905	3.4	△ 245	△ 1.4
I 流 動 負 債	14,601	3.0	15,215	3.1	△ 614	△ 4.0
(1) 未 払 金	12,911	2.6	13,651	2.7	△ 740	△ 5.4
(2) 預 り 金	264	0.1	202	0.0	62	30.7
(3) 賞 与 引 当 金	1,426	0.3	1,362	0.3	64	4.7
II 固 定 負 債	2,059	0.4	1,690	0.3	369	21.8
(1) 退 職 給 付 引 当 金	2,059	0.4	1,690	0.3	369	21.8
正 味 財 産	477,058	96.6	481,125	96.6	△ 4,067	△ 0.8
I 指 定 正 味 財 産	100,000	20.3	100,000	20.1	0	0.0
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	—	(100,000)	—	(0)	—
II 一 般 正 味 財 産	377,058	76.4	381,125	76.5	△ 4,067	△ 1.1
(うち基本財産への充当額)	(—)	—	(—)	—	(—)	—

② 病院事業特別会計

(ア) 経営状況

経営状況は、第7表のとおりである。

第 7 表 比較正味財産増減計算書（病院事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年 度		平成 22 年 度		対 前 年 度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
I 一般正味財産増減の部						
【 経 常 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 収 益 (a)	2,273,236	100.0	2,013,678	100.0	259,558	12.9
① 病 院 事 業 収 益	2,181,991	96.0	1,912,523	95.0	269,468	14.1
入院診療収益	2,070,284	91.1	1,816,585	90.2	253,699	14.0
外来診療収益	38,462	1.7	32,110	1.6	6,352	19.8
その他医業収益	63,276	2.8	52,691	2.6	10,585	20.1
特別診療収益	9,969	0.4	11,138	0.6	△ 1,169	△ 10.5
② 受 取 寄 付 金	—	—	20	0.0	△ 20	皆減
③ 雑 収 益	10,123	0.4	22,567	1.1	△ 12,444	△ 55.1
受 取 利 息	99	0.0	142	0.0	△ 43	△ 30.3
雑 収 益	5,181	0.2	4,884	0.2	297	6.1
受 託 収 益	4,844	0.2	17,541	0.9	△ 12,697	△ 72.4
④ 他 会 計 か ら の 繰 入 額	6,074	0.3	8,502	0.4	△ 2,428	△ 28.6
老人保健施設事業	6,074	0.3	8,502	0.4	△ 2,428	△ 28.6
特別会計からの繰入額	6,074	0.3	8,502	0.4	△ 2,428	△ 28.6
⑤ 引 当 金 取 崩 額	75,048	3.3	70,065	3.5	4,983	7.1
退職給付引当金取崩額	14,969	0.7	9,014	0.4	5,955	66.1
賞与引当金戻入額	60,079	2.6	61,051	3.0	△ 972	△ 1.6
(2) 経 常 費 用 (b)	2,134,131	100.0	1,963,399	100.0	170,732	8.7
① 病 院 事 業 費	2,112,801	99.0	1,944,721	99.0	168,080	8.6
給 与 費	1,435,773	67.3	1,343,540	68.4	92,233	6.9
材 料 費	97,294	4.6	99,852	5.1	△ 2,558	△ 2.6
経 費	268,141	12.6	208,204	10.6	59,937	28.8
委 託 費	159,682	7.5	153,553	7.8	6,129	4.0
特 別 診 療 費	6,263	0.3	6,520	0.3	△ 257	△ 3.9
減 価 償 却 費	82,517	3.9	72,973	3.7	9,544	13.1
賞与引当金繰入額	63,131	3.0	60,079	3.1	3,052	5.1
② 他 会 計 へ の 繰 出 金	14,969	0.7	9,014	0.5	5,955	66.1
老人保健施設事業	14,969	0.7	9,014	0.5	5,955	66.1
特別会計への繰出額	14,969	0.7	9,014	0.5	5,955	66.1
③ 引 当 金 繰 入 額	6,361	0.3	9,664	0.5	△ 3,303	△ 34.2
退職給付引当金繰入額	6,074	0.3	8,502	0.4	△ 2,428	△ 28.6
貸倒引当金繰入額	287	0.0	1,162	0.1	△ 875	△ 75.3
当期経常増減額 (A = a - b)	139,105	—	50,278	—	88,827	176.7
【 経 常 外 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 外 収 益 (c)	—	—	—	—	—	—
(2) 経 常 外 費 用 (d)	29	—	2,936	—	△ 2,907	△ 99.0
① 除 却 損 失	29	—	2,936	—	△ 2,907	△ 99.0
什器備品除却損	29	—	2,936	—	△ 2,907	△ 99.0
当期経常外増減額 (B = c - d)	△ 29	—	△ 2,936	—	2,907	—
当期一般正味財産増減額 (C = A + B)	139,076	—	47,342	—	91,734	193.8
一般正味財産期首残高 (D)	864,245	—	816,903	—	47,342	5.8
一般正味財産期末残高 (E = C + D)	1,003,321	—	864,245	—	139,076	16.1
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額 (F)	0	—	0	—	0	—
指定正味財産期首残高 (G)	—	—	—	—	—	—
指定正味財産期末残高 (H = F + G)	—	—	—	—	—	—
III 正味財産期末残高 (I = E + H)	1,003,321	—	864,245	—	139,076	16.1

(イ) 財政状態

財政状態は、第8表のとおりである。

第 8 表 比 較 貸 借 対 照 表（病院事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年 度 末		平成 22 年 度 末		対 前 年 度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
資 産	1,637,313	100.0	1,384,680	100.0	252,633	18.2
I 流 動 資 産	1,060,142	64.7	841,009	60.7	219,133	26.1
(1) 現 金 預 金	603,638	36.9	479,192	34.6	124,446	26.0
(2) 未 収 金	399,122	24.4	352,427	25.5	46,695	13.2
(3) 有 価 証 券	50,000	3.1	—	—	50,000	皆増
(4) 貯 蔵 品	8,347	0.5	10,130	0.7	△ 1,783	△ 17.6
(5) 前 払 金	1,073	0.1	1,033	0.1	40	3.9
(6) 仮 払 金	21	0.0	—	—	21	皆増
(7) 貸 倒 引 当 金	△ 2,059	△ 0.1	△ 1,772	△ 0.1	△ 287	△ 16.2
II 固 定 資 産	577,172	35.3	543,670	39.3	33,502	6.2
(1) そ の 他 固 定 資 産	577,172	35.3	543,670	39.3	33,502	6.2
① 土 地	26,330	1.6	26,330	1.9	0	0.0
② 建 物	77,318	4.7	80,260	5.8	△ 2,942	△ 3.7
③ 建 物 付 帯 設 備	43,977	2.7	46,270	3.3	△ 2,293	△ 5.0
④ 構 築 物	2,910	0.2	2,316	0.2	594	25.6
⑤ 什 器 備 品	212,121	13.0	194,696	14.1	17,425	8.9
⑥ 一 括 償 却 資 産	752	0.0	1,430	0.1	△ 678	△ 47.4
⑦ リ ー ス 資 産	22,269	1.4	32,272	2.3	△ 10,003	△ 31.0
⑧ 建 設 仮 勘 定	599	0.0	599	0.0	0	0.0
⑨ 電 話 加 入 権	534	0.0	534	0.0	0	0.0
⑩ 保 証 金	1,650	0.1	1,650	0.1	0	0.0
⑪ ソ フ ト ウ ェ ア	7,023	0.4	4,996	0.4	2,027	40.6
⑫ 繰 延 資 産 勘 定	181,689	11.1	152,318	11.0	29,371	19.3
負 債 及 び 正 味 財 産	1,637,313	100.0	1,384,680	100.0	252,633	18.2
負 債	633,993	38.7	520,434	37.6	113,559	21.8
I 流 動 負 債	319,920	19.5	198,854	14.4	121,066	60.9
(1) 未 払 金	243,118	14.8	124,871	9.0	118,247	94.7
(2) 預 り 金	13,672	0.8	13,905	1.0	△ 233	△ 1.7
(3) 賞 与 引 当 金	63,131	3.9	60,079	4.3	3,052	5.1
II 固 定 負 債	314,072	19.2	321,580	23.2	△ 7,508	△ 2.3
(1) 長 期 借 入 金	40,585	2.5	43,770	3.2	△ 3,185	△ 7.3
(2) リ ー ス 債 務	22,269	1.4	32,272	2.3	△ 10,003	△ 31.0
(3) 退 職 給 付 引 当 金	161,219	9.8	145,538	10.5	15,681	10.8
(4) 他 会 計 借 入 金	90,000	5.5	100,000	7.2	△ 10,000	△ 10.0
正 味 財 産	1,003,321	61.3	864,245	62.4	139,076	16.1
I 指 定 正 味 財 産	—	—	—	—	—	—
II 一 般 正 味 財 産	1,003,321	61.3	864,245	62.4	139,076	16.1

③ 老人保健施設事業特別会計

(ア) 経営状況

経営状況は、第9表のとおりである。

第9表 比較正味財産増減計算書(老人保健施設事業)

(単位 金額：千円)

科 目	平成23年度		平成22年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
I 一般正味財産増減の部						
【経常増減の部】						
(1) 経常収益(a)	868,782	100.0	856,404	100.0	12,378	1.4
① 施設運営事業収益	808,517	93.1	798,794	93.3	9,723	1.2
事業受託収益	74,000	8.5	71,672	8.4	2,328	3.2
施設介護料収益	617,259	71.0	609,758	71.2	7,501	1.2
居宅介護料収益	112,427	12.9	113,079	13.2	△ 652	△ 0.6
その他の事業収益	880	0.1	409	0.0	471	115.2
駐車場収益	3,952	0.5	3,876	0.5	76	2.0
② 補助金等収入	14,671	1.7	14,445	1.7	226	1.6
③ 受取寄付金	534	0.1	165	0.0	369	223.6
④ 雑収益	2,025	0.2	2,901	0.3	△ 876	△ 30.2
受取利息	15	0.0	31	0.0	△ 16	△ 51.6
雑収益	987	0.1	1,601	0.2	△ 614	△ 38.4
受託収益	1,023	0.1	1,269	0.1	△ 246	△ 19.4
⑤ 他会計からの繰入額	14,969	1.7	9,014	1.1	5,955	66.1
病院事業特別会計からの繰入額	14,969	1.7	9,014	1.1	5,955	66.1
⑥ 引当金取崩額	28,066	3.2	31,085	3.6	△ 3,019	△ 9.7
退職給付引当金取崩額	6,226	0.7	8,770	1.0	△ 2,544	△ 29.0
貸倒引当金取崩額	—	—	1	0.0	△ 1	皆減
賞与引当金戻入額	21,840	2.5	22,314	2.6	△ 474	△ 2.1
(2) 経常費用(b)	873,864	100.0	866,767	100.0	7,097	0.8
① 施設運営事業費	852,615	97.6	848,979	97.9	3,636	0.4
給与料	506,719	58.0	506,780	58.5	△ 61	△ 0.0
材料費	73,817	8.4	73,285	8.5	532	0.7
経費	97,532	11.2	95,825	11.1	1,707	1.8
委託費	108,639	12.4	110,182	12.7	△ 1,543	△ 1.4
減価償却費	42,190	4.8	41,067	4.7	1,123	2.7
賞与引当金繰入額	23,718	2.7	21,840	2.5	1,878	8.6
② 他会計への繰出金	6,226	0.7	8,770	1.0	△ 2,544	△ 29.0
病院事業特別会計への繰出額	6,074	0.7	8,502	1.0	△ 2,428	△ 28.6
在宅介護支援事業特別会計への繰出金	152	0.0	268	0.0	△ 116	△ 43.3
③ 引当金繰入額	15,023	1.7	9,018	1.0	6,005	66.6
退職給付引当金繰入額	14,969	1.7	9,014	1.0	5,955	66.1
貸倒引当金繰入額	54	0.0	4	0.0	50	ほぼ皆増
当期経常増減額(A=a-b)	△ 5,082	—	△ 10,364	—	5,282	51.0
【経常外増減の部】						
(1) 経常外収益(c)	—	—	92	—	△ 92	皆減
① 固定資産売却益	—	—	92	—	△ 92	皆減
車両運搬具売却益	—	—	92	—	△ 92	皆減
(2) 経常外費用(d)	—	—	—	—	—	—
当期経常外増減額(B=c-d)	0	—	92	—	△ 92	—
当期一般正味財産増減額(C=A+B)	△ 5,082	—	△ 10,272	—	5,190	50.5
一般正味財産期首残高(D)	△ 17,212	—	△ 6,940	—	△ 10,272	△ 148.0
一般正味財産期末残高(E=C+D)	△ 22,294	—	△ 17,212	—	△ 5,082	△ 29.5
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額(F)	△ 5,070	—	△ 2,157	—	△ 2,913	△ 135.0
① 受取補助金等	971	—	—	—	971	皆増
② 受取寄付金	—	—	3,200	—	△ 3,200	皆減
③ 一般正味財産への振替額	△ 6,041	—	△ 5,357	—	△ 684	△ 12.8
指定正味財産期首残高(G)	63,085	—	65,242	—	△ 2,157	△ 3.3
指定正味財産期末残高(H=F+G)	58,015	—	63,085	—	△ 5,070	△ 8.0
III 正味財産期末残高(I=E+H)	35,721	—	45,873	—	△ 10,152	△ 22.1

(イ) 財政状態

財政状態は、第 10 表のとおりである。

第 10 表 比較貸借対照表（老人保健施設事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年度 末		平成 22 年度 末		対 前 年 度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
資 産	755,124	100.0	785,747	100.0	△ 30,623	△ 3.9
I 流 動 資 産	254,464	33.7	247,166	31.5	7,298	3.0
(1) 現 金 預 金	86,204	11.4	96,593	12.3	△ 10,389	△ 10.8
(2) 未 収 金	168,383	22.3	150,466	19.1	17,917	11.9
(3) 貯 蔵 品	517	0.1	645	0.1	△ 128	△ 19.8
(4) 前 払 金	74	0.0	122	0.0	△ 48	△ 39.3
(5) 貸 倒 引 当 金	△ 713	△ 0.1	△ 659	△ 0.1	△ 54	△ 8.2
II 固 定 資 産	500,660	66.3	538,580	68.5	△ 37,920	△ 7.0
(1) 特 定 資 産	483,372	64.0	519,403	66.1	△ 36,031	△ 6.9
① 建 物	365,908	48.5	378,010	48.1	△ 12,102	△ 3.2
② 建 物 付 帯 設 備	113,086	15.0	138,221	17.6	△ 25,135	△ 18.2
③ 車 両 運 搬 具	2,634	0.3	3,171	0.4	△ 537	△ 16.9
④ 什 器 備 品	1,743	0.2	—	—	1,743	皆増
(2) そ の 他 固 定 資 産	17,288	2.3	19,178	2.4	△ 1,890	△ 9.9
① 建 物	693	0.1	716	0.1	△ 23	△ 3.2
② 建 物 付 帯 設 備	2,025	0.3	2,392	0.3	△ 367	△ 15.3
③ 構 築 物	7,616	1.0	8,670	1.1	△ 1,054	△ 12.2
④ 車 両 運 搬 具	15	0.0	117	0.0	△ 102	△ 87.2
⑤ 什 器 備 品	5,098	0.7	5,792	0.7	△ 694	△ 12.0
⑥ 一 括 償 却 資 産	205	0.0	367	0.0	△ 162	△ 44.1
⑦ 電 話 加 入 権	1,072	0.1	1,072	0.1	0	0.0
⑧ 保 証 金	52	0.0	52	0.0	0	0.0
⑨ ソ フ ト ウ ェ ア	512	0.1	—	—	512	皆増
負 債 及 び 正 味 財 産	755,124	100.0	785,747	100.0	△ 30,623	△ 3.9
負 債	719,402	95.3	739,874	94.2	△ 20,472	△ 2.8
I 流 動 負 債	101,348	13.4	102,603	13.1	△ 1,255	△ 1.2
(1) 未 払 金	72,887	9.7	76,190	9.7	△ 3,303	△ 4.3
(2) 預 り 金	4,725	0.6	4,573	0.6	152	3.3
(3) 仮 受 金	19	0.0	0	0.0	19	ほぼ皆増
(4) 賞 与 引 当 金	23,718	3.1	21,840	2.8	1,878	8.6
II 固 定 負 債	548,054	72.6	567,271	72.2	△ 19,217	△ 3.4
(1) 長 期 借 入 金	382,897	50.7	512,922	65.3	△ 130,025	△ 25.3
(2) 退 職 給 付 引 当 金	76,277	10.1	54,349	6.9	21,928	40.3
(3) 他 会 計 借 入 金	88,880	11.8	—	—	88,880	皆増
III 元 入 金	70,000	9.3	70,000	8.9	0	0.0
(1) 元 入 金	70,000	9.3	70,000	8.9	0	0.0
正 味 財 産	35,721	4.7	45,873	5.8	△ 10,152	△ 22.1
I 指 定 正 味 財 産	58,015	7.7	63,085	8.0	△ 5,070	△ 8.0
(1) 国 庫 補 助 金 等	44,961	6.0	48,482	6.2	△ 3,521	△ 7.3
(2) 地 方 公 共 団 体 補 助 金	10,433	1.4	11,448	1.5	△ 1,015	△ 8.9
(3) 寄 付 金	2,621	0.3	3,155	0.4	△ 534	△ 16.9
(うち特定資産への充当額)	(57,999)	—	(63,085)	—	(△5,086)	—
II 一 般 正 味 財 産	△ 22,294	△ 3.0	△ 17,212	△ 2.2	△ 5,082	△ 29.5
(うち特定資産への充当額)	(425,373)	—	(456,318)	—	(△30,945)	—

④ 訪問看護事業特別会計

(ア) 経営状況

経営状況は、第 11 表のとおりである。

第 11 表 比較正味財産増減計算書（訪問看護事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年 度		平成 22 年 度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
I 一般正味財産増減の部						
【 経 常 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 収 益 (a)	573,872	100.0	541,901	100.0	31,971	5.9
① 訪 問 看 護 事 業 収 益	563,455	98.2	533,705	98.5	29,750	5.6
介 護 保 険 収 益	351,243	61.2	339,142	62.6	12,101	3.6
医 療 保 険 等 収 益	212,213	37.0	194,563	35.9	17,650	9.1
② 受 取 寄 付 金	68	0.0	—	—	68	皆増
③ 雑 収 益	2,137	0.4	1,578	0.3	559	35.4
受 取 利 息	44	0.0	65	0.0	△ 21	△ 32.3
雑 収 益	1,130	0.2	1,067	0.2	63	5.9
受 託 収 益	962	0.2	445	0.1	517	116.2
④ 引 当 金 取 崩 額	8,211	1.4	6,618	1.2	1,593	24.1
貸 倒 引 当 金 取 崩 額	50	0.0	47	0.0	3	6.4
賞 与 引 当 金 取 崩 額	8,162	1.4	6,571	1.2	1,591	24.2
(2) 経 常 費 用 (b)	550,727	100.0	520,687	100.0	30,040	5.8
① 訪 問 看 護 事 業 費	550,699	100.0	520,626	100.0	30,073	5.8
給 与 費	474,747	86.2	445,902	85.6	28,845	6.5
衛 生 材 料 費	1,453	0.3	2,126	0.4	△ 673	△ 31.7
経 費	49,601	9.0	47,076	9.0	2,525	5.4
委 託 費	15,308	2.8	16,157	3.1	△ 849	△ 5.3
減 価 償 却 費	922	0.2	1,203	0.2	△ 281	△ 23.4
賞 与 引 当 金 繰 入 額	8,669	1.6	8,162	1.6	507	6.2
② 引 当 金 繰 入 額	28	0.0	61	0.0	△ 33	△ 54.1
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	28	0.0	61	0.0	△ 33	△ 54.1
当期経常増減額 (A = a - b)	23,145	—	21,214	—	1,931	9.1
【 経 常 外 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 外 収 益 (c)	—	—	—	—	—	—
(2) 経 常 外 費 用 (d)	10	—	—	—	10	皆増
① 除 却 損 失	10	—	—	—	10	皆増
車 両 運 搬 具 除 却 損	10	—	—	—	10	皆増
当期経常外増減額 (B = c - d)	△ 10	—	0	—	△ 10	—
当期一般正味財産増減額 (C = A + B)	23,135	—	21,214	—	1,921	9.1
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (D)	347,832	—	326,618	—	21,214	6.5
一般正味財産期末残高 (E = C + D)	370,967	—	347,832	—	23,135	6.7
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額 (F)	932	—	—	—	932	皆増
① 受 取 寄 付 金	972	—	—	—	972	皆増
② 一般正味財産への振替額	△ 41	—	—	—	△ 41	皆減
指定正味財産期首残高 (G)	—	—	—	—	—	—
指定正味財産期末残高 (H = F + G)	932	—	—	—	932	皆増
III 正味財産期末残高 (I = E + H)	371,898	—	347,832	—	24,066	6.9

(イ) 財政状態

財政状態は、第 12 表のとおりである。

第 12 表 比較貸借対照表（訪問看護事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 23 年 度 末		平成 22 年 度 末		対 前 年 度 増 減	対前年度増減率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
資 産	511,480	100.0	469,699	100.0	41,781	8.9
I 流 動 資 産	414,701	81.1	366,144	78.0	48,557	13.3
(1) 現 金 預 金	205,175	40.1	219,437	46.7	△ 14,262	△ 6.5
(2) 未 収 金	158,449	31.0	145,641	31.0	12,808	8.8
(3) 有 価 証 券	50,000	9.8	—	—	50,000	皆増
(4) 貯 蔵 品	1,638	0.3	1,648	0.4	△ 10	△ 0.6
(5) 前 払 金	12	0.0	12	0.0	0	0.0
(6) 貸 倒 引 当 金	△ 573	△ 0.1	△ 594	△ 0.1	21	3.5
II 固 定 資 産	96,779	18.9	103,555	22.0	△ 6,776	△ 6.5
(1) 特 定 資 産	932	0.2	—	—	932	皆増
車 両 運 搬 具	932	0.2	—	—	932	皆増
(2) そ の 他 固 定 資 産	95,848	18.7	103,555	22.0	△ 7,707	△ 7.4
① 車 両 運 搬 具	—	—	10	0.0	△ 10	皆減
② 什 器 備 品	429	0.1	905	0.2	△ 476	△ 52.6
③ 一 括 償 却 資 産	0	0.0	118	0.0	△ 118	△ 100.0
④ 電 話 加 入 権	426	0.1	426	0.1	0	0.0
⑤ 保 証 金	2,129	0.4	1,777	0.4	352	19.8
⑥ 貸付金(病院事業特別会計)	90,000	17.6	100,000	21.3	△ 10,000	△ 10.0
⑦ ソ フ ト ウ ェ ア	239	0.0	319	0.1	△ 80	△ 25.1
⑧ 繰 延 資 産 勘 定	2,625	0.5	—	—	2,625	皆増
負 債 及 び 正 味 財 産	511,480	100.0	469,699	100.0	41,781	8.9
負 債	139,582	27.3	121,867	25.9	17,715	14.5
I 流 動 負 債	120,826	23.6	107,455	22.9	13,371	12.4
(1) 未 払 金	104,486	20.4	91,913	19.6	12,573	13.7
(2) 預 り 金	7,672	1.5	7,378	1.6	294	4.0
(3) 仮 受 金	—	—	2	0.0	△ 2	皆減
(4) 賞 与 引 当 金	8,669	1.7	8,162	1.7	507	6.2
II 固 定 負 債	18,755	3.7	14,412	3.1	4,343	30.1
(1) 退 職 給 付 引 当 金	18,755	3.7	14,412	3.1	4,343	30.1
正 味 財 産	371,898	72.7	347,832	74.1	24,066	6.9
I 指 定 正 味 財 産	932	0.2	—	—	932	皆増
(1) 寄 付 金	932	0.2	—	—	932	皆増
(うち特定資産への充当額)	(932)	—	(0)	—	(932)	—
II 一 般 正 味 財 産	370,967	72.5	347,832	74.1	23,135	6.7

⑤ 在宅介護支援事業特別会計

(ア) 経営状況

経営状況は、第13表のとおりである。

第13表 比較正味財産増減計算書（在宅介護支援事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成23年度		平成22年度		対前年度 増減	対前年度 増減率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
I 一般正味財産増減の部						
【経常増減の部】						
(1) 経常収益(a)	247,866	100.0	211,055	100.0	36,811	17.4
① 在宅介護支援事業収益	240,108	96.9	205,452	97.3	34,656	16.9
地域包括支援センター事業収益	102,857	41.5	79,432	37.6	23,425	29.5
居宅介護支援事業収益	137,251	55.4	126,020	59.7	11,231	8.9
② 受取補助金等	741	0.3	741	0.4	0	0.0
③ 雑収益	127	0.1	214	0.1	△ 87	△ 40.7
受取利息	23	0.0	35	0.0	△ 12	△ 34.3
雑収益	26	0.0	80	0.0	△ 54	△ 67.5
受託収益	78	0.0	99	0.0	△ 21	△ 21.2
④ 他会計からの繰入額	152	0.1	268	0.1	△ 116	△ 43.3
老人保健施設事業	152	0.1	268	0.1	△ 116	△ 43.3
特別会計からの繰入額						
⑤ 引当金取崩額	6,738	2.7	4,380	2.1	2,358	53.8
貸倒引当金取崩額	4	0.0	4	0.0	0	0.0
賞与引当金戻入額	6,733	2.7	4,376	2.1	2,357	53.9
(2) 経常費用(b)	250,118	100.0	204,060	100.0	46,058	22.6
① 在宅介護支援事業費	249,961	99.9	203,742	99.8	46,219	22.7
給与費	196,167	78.4	161,223	79.0	34,944	21.7
経費	30,804	12.3	24,042	11.8	6,762	28.1
委託費	13,266	5.3	9,948	4.9	3,318	33.4
減価償却費	2,346	0.9	1,796	0.9	550	30.6
賞与引当金繰入額	7,377	2.9	6,733	3.3	644	9.6
② 引当金繰入額	157	0.1	318	0.2	△ 161	△ 50.6
退職給付引当金繰入額	152	0.1	268	0.1	△ 116	△ 43.3
貸倒引当金繰入額	5	0.0	50	0.0	△ 45	△ 90.0
当期経常増減額(A=a-b)	△ 2,251	—	6,995	—	△ 9,246	△ 132.2
【経常外増減の部】						
(1) 経常外収益(c)	—	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用(d)	10	—	—	—	10	皆増
① 除却損失	10	—	—	—	10	皆増
車両運搬具除却損	10	—	—	—	10	皆増
当期経常外増減額(B=c-d)	△ 10	—	0	—	△ 10	—
当期一般正味財産増減額(C=A+B)	△ 2,261	—	6,995	—	△ 9,256	△ 132.3
一般正味財産期首残高(D)	95,396	—	88,401	—	6,995	7.9
一般正味財産期末残高(E=C+D)	93,135	—	95,396	—	△ 2,261	△ 2.4
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額(F)	△ 741	—	△ 741	—	0	0.0
① 一般正味財産への振替額	△ 741	—	△ 741	—	0	0.0
指定正味財産期首残高(G)	8,842	—	9,584	—	△ 742	△ 7.7
指定正味財産期末残高(H=F+G)	8,101	—	8,842	—	△ 741	△ 8.4
III 正味財産期末残高(I=E+H)	101,236	—	104,238	—	△ 3,002	△ 2.9

(イ) 財政状態

財政状態は、第14表のとおりである。

第14表 比較貸借対照表（在宅介護支援事業）

(単位 金額：千円)

科 目	平成23年度末		平成22年度末		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構 成 率	金 額	構 成 率		
資 産	177,856	100.0	181,891	100.0	△ 4,035	△ 2.2
I 流動資産	161,172	90.6	165,757	91.1	△ 4,585	△ 2.8
(1) 現金預金	129,292	72.7	134,025	73.7	△ 4,733	△ 3.5
(2) 未収金	31,874	17.9	31,748	17.5	126	0.4
(3) 貯蔵品	146	0.1	156	0.1	△ 10	△ 6.4
(4) 仮払金	34	0.0	—	—	34	皆増
(5) 貸倒引当金	△ 173	△ 0.1	△ 173	△ 0.1	0	0.0
II 固定資産	16,683	9.4	16,133	8.9	550	3.4
(1) 特定資産	11,198	6.3	12,063	6.6	△ 865	△ 7.2
① 建物	8,206	4.6	8,473	4.7	△ 267	△ 3.2
② 建物付帯設備	2,992	1.7	3,590	2.0	△ 598	△ 16.7
(2) その他固定資産	5,485	3.1	4,070	2.2	1,415	34.8
① 建物付帯設備	581	0.3	636	0.3	△ 55	△ 8.6
② 構築物	162	0.1	185	0.1	△ 23	△ 12.4
③ 車両運搬具	—	—	10	0.0	△ 10	皆減
④ 什器備品	1,125	0.6	959	0.5	166	17.3
⑤ 一括償却資産	112	0.1	—	—	112	皆増
⑥ 電話加入権	230	0.1	230	0.1	0	0.0
⑦ 保証金	1,885	1.1	1,885	1.0	0	0.0
⑧ ソフトウェア	1,391	0.8	165	0.1	1,226	743.0
負債及び正味財産	177,856	100.0	181,891	100.0	△ 4,035	△ 2.2
負債	76,620	43.1	77,653	42.7	△ 1,033	△ 1.3
I 流動負債	66,491	37.4	70,510	38.8	△ 4,019	△ 5.7
(1) 未払金	57,643	32.4	62,467	34.3	△ 4,824	△ 7.7
(2) 預り金	1,470	0.8	1,310	0.7	160	12.2
(3) 賞与引当金	7,377	4.1	6,733	3.7	644	9.6
II 固定負債	10,129	5.7	7,143	3.9	2,986	41.8
(1) 長期借入金	4,408	2.5	4,751	2.6	△ 343	△ 7.2
(2) 退職給付引当金	5,721	3.2	2,392	1.3	3,329	139.2
正味財産	101,236	56.9	104,238	57.3	△ 3,002	△ 2.9
I 指定正味財産	8,101	4.6	8,842	4.9	△ 741	△ 8.4
(1) 地方公共団体補助金 (うち特定資産への充当額)	8,101	4.6	8,842	4.9	△ 741	△ 8.4
II 一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	93,135	52.4	95,396	52.4	△ 2,261	△ 2.4
	(3,096)	—	(3,221)	—	(△125)	—

5 監査の結果

(1) 経営に関する事項について（第3表参照）

当年度の経常収益は 39 億 8,828 万円、経常費用は 38 億 3,688 万円で、当期経常増減額は 1 億 5,140 万円である。

経常収益は前年度に比べ 3 億 3,702 万円（9.2%）増加している。これは主として、事業収益において、病院事業でリハビリテーション充実加算の施設承認を取得し、一層のリハビリテーションの充実等により病院事業収益が 2 億 6,946 万円増加したことや訪問看護事業及び在宅介護支援事業で、兵庫センターの通年化（22 年 10 月事業開始）等により訪問看護事業収益が 2,975 万円、在宅介護支援事業収益が 3,465 万円それぞれ増加したことによる。

また、経常費用は前年度に比べ 2 億 5,200 万円（7.0%）増加しているが、これは主として、事業費用において、病院事業でリハビリテーション充実のためのセラピストの増員等に伴う給与費 9,223 万円の増加、施設の保全計画に沿った老朽改修工事着工に伴う修繕費の増加等による経費 5,993 万円の増に加えて、訪問看護事業、在宅介護支援事業で、兵庫センターの通年化等により訪問看護事業費が 3,007 万円、在宅介護支援事業費が 4,621 万円それぞれ増加したことによる。

経常収益の増加が経常費用の増加を上回っていることから、当期経常増減額は前年度に比べ 8,502 万円（128.1%）増加している。

事業面では、在宅ケアに関する調査研究事業や住宅改修助成事業などの在宅高齢者等への支援事業を行うとともに、神戸リハビリテーション病院等の施設の運営、訪問看護ステーションの運営や居宅介護支援事業所の運営など、設立の目的に沿って事業がなされているものと認められた。

また、老人健康センターの指定管理においても、概ね適正に管理運営が行われているものと認められた。

(2) 財務に関する事項について（第4表参照）

当年度末の資産は 31 億 3,552 万円で、病院事業における入院診療収入等に係る未収金が 3,251 万円増加し、資金運用の増に伴い有価証券が 7,988 万円増加する等、前年度末に比べ 2 億 3,121 万円（8.0%）増加している。負債は 11 億 4,629 万円で、リハビリテーション病院の保全工事費等に係る未払金が 7,661 万円増加する等、前年度末に比べ 8,529 万円（8.0%）増加している。正味財産は 19 億 8,923 万円で、当期一般正味財産増減額の増により、前年度末に比べ 1 億 4,592 万円（7.9%）増加している。

(3) 指摘事項

研究所の出納その他の事務については、概ね適正に処理されていると認められたが、事務の一部について次のような改善を要する事例が見受けられたので、今後適正な事務処理に努められたい。

① 会計に関する事務

ア 受託収入の年度区分

研究所では、A市からA市に住民票のあるB氏の介護保険要介護認定調査業務の委託を受けている。平成23年度の受託料（平成24年3月5日付）がA市より銀行口座に入金されているにもかかわらず、平成23年度収支決算の要介護認定調査受託収入には計上せず、平成22年度に過大計上となっていた同額の要介護認定調査受託収入の未収金の収入として処理されている事例が見受けられた。

受託収入の年度区分を適正に処理すべきである。

② その他

ア 介護保険要介護認定調査業務の件数

研究所は、本市と介護保険要介護認定調査業務に係る委託契約を締結している。（調査1件あたり4,410円）

平成23年度収支決算には、兵庫しあわせケアプランセンターの受託収入として2,866,500円（650件相当）計上されている。一方で、事業報告の平成23年度実績では、同センターの更新認定調査件数は651件となっている。同様に、しあわせの村在宅支援センターにおいても、収支決算には受託収入として2,910,600円（660件相当）計上されているが、事業報告の実績では654件となっている。

この事例では、収支決算計上額より推定される件数と事業報告の実績件数に差があるように見受けられるが、本来、両者は一致するはずのものであり、このような相違が生じないように適正に処理すべきである。

(4) 意見

① 前渡金精算

前渡金支出を行った経費について、当該用務終了後に支払精算書を作成しているが、その際の決裁が前渡金管理者までとなっている事例が散見された。

研究所の会計規程上、支払精算の決裁者は明示されておらず、現状では前渡金の支出決議の決裁者と支払精算書の決裁者が基本的に同一であるように見受けられた。前渡金支出については金融機関を通じての決済ではなく、職員が直接現金を取り扱う事務処理であることから、金額の大小にかかわらず、精算にあたっては当該事務処理の当事者以外による確認がなされるよう検討されたい。

② 小口現金事務の統一

小口現金に関する事務処理について、立替者が領収書を添付した「申請書」を小口現金管理者に提出し、出納担当者が「小口現金出納簿」（決裁欄あり）で決裁を得て、立替金を出金

する事例と、出納担当者が領収書を添付した「小口現金支出伺（兼）履行確認書」で決裁を得て、立替金を出金する事例があり、同一組織内において、様式が異なる書類で異なる事務処理を行っているように見受けられるが、運用面も含め、統一するよう検討されたい。

(5) まとめ

研究所では設立趣旨に沿って、在宅高齢者等に対する福祉・医療サービスについての研究及び実践を行うことにより、高齢者等の福祉の向上に寄与すべく病院事業をはじめ老人保健施設事業、訪問看護事業、在宅介護支援事業と多岐にわたる事業を行っており、研究所全体としては、当期損益で黒字を計上し、安定的に経営している。

急速に高齢化が進行する状況の中、今後も研究所の果たすべき役割は増大するものと考えられる。リハビリテーション病院の保全計画を着実に実行するとともに、リハ・神戸の計画的保全に取り組むため、引き続き安定した経営を維持しつつ、より一層、在宅及び地域社会における高齢者等に対するサービスの充実、向上を図ることにより、神戸市民の福祉の向上に寄与されたい。

凡 例

- 1 文中で用いる金額は、原則として千円の位以下を省略し、万円単位で表示している。
- 2 各表中の金額は、原則として百円の位を四捨五入し、千円単位で表示している。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の比率は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」及び「0.0」-----該当数値はあるが、単位未満のもの。
 - 対前年増減額及び率の場合は、零を含む。
 - 「－」-----該当数値なし、算出不能又は無意味のもの。
 - 「ほぼ皆増」-----増加率が1,000%以上のもの。
- 5 文中及び各表中でいう消費税とは「消費税」および「地方消費税」をいう。